



油ヤシ・プランテーション被害について説明

任意団体 GRAIN

アフリカにおける 油ヤシ・プランテーション産業の拡大に 対するコミュニティの対応能力強化事業

一般助成
1年目
国際会議

ガボンの25のコミュニティや
市民社会組織がワークショップに
参加する **40人**

国際機関からの
代表者らがワークショップに
参加する **5機関/6人**

活動の全体目標に
対する達成度 **80%**

課題

アフリカ熱帯地域における企業の油ヤシ・プランテーション開発が、対象地域コミュニティへの配慮なきまま促進され、森林破壊や人びとの生計手段の喪失がもたらされている。

目標

地元コミュニティが、互いの経験と情報を共有し、またプランテーションの拡大を止めて土地と森林を守ることに成功した事例等を学ぶことで、自分たちの権利と自然環境を守るための能力強化を目指す。

活動内容

2017年2月、ガボン共和国において、中央及び西アフリカで油ヤシ・プランテーションの拡大により影響を受けるコミュニティのリーダーや各国・地域の草の根組織、持続的農業及び環境保全を専門とする団体や研究者などが参加するワークショップを実施した。約40名のガボンの農村コミュニティや地元NGOからの参加者が、地域環境と自らの利益を守ることに成功した他の事例や、自国の土地に関する法律などについて学んだ。



暮らしや被害に関して
情報交換する参加女性

達成できなかったこと

本事業用に教材を作成する予定だったが、ガボンにおけるワークショップから得られた情報も盛り込むほうが有意義な内容になると判断し、2017年度に最終化させることとした。

今後の展望

2017年度にシエラレオネで同様のワークショップを開催予定。国際的なネットワークを拡大していく。

成果と工夫した ポイント



成果

ガボンのNGO、コミュニティの人びとの間でネットワークが作られ、ガボンの市民団体と国際NGOも、ガボンや他国の事例・課題を共有し、人びとの権利を守るための戦略を立てて、行動し始めている。

工夫

油ヤシ・プランテーションによる被害を受けている現場を訪問、事例を通じて環境問題に対する理解を深めた。